



輝け！北っ子！

ちょっといい話 ～ちょっとした心遣いが人の心を動かす～

先日、5年生が福祉教育出前授業を実施したことは学校だよりNo. 21でご紹介したところでしたが、追加で紹介したい話がありました。5年生で「手話」の学習をした後、子どもたちがお世話になった講師の方に御礼のお手紙を書いていたのでした。しかも、手紙は担任が子どもたちに書くように話して「書かせた」わけではなく、子どもたちが自主的に書いたものでした。担任に話をきいてみると、一人の子が御礼の手紙を書いたところ、それを知ったまわりの子たちが「それはいいことだね。自分たちもやろう。」と言うことになり、時間を見つけて書いたということでした。講師の先生は「こんなにうれしいことはありません。感謝です。」と涙を流しながら話をしてくれました。



一人の行動がまわりの子の心を動かし、行動に結びつけ、相手の心をゆさぶる・・・とっても素晴らしい活動になりました。ちょっとした心遣いができるかできないかでその後の結果は大きく変わってきます。北小の子を誇らしく感じました。

また、私も「手話」でのあいさつを教えていただいたので、朝、校門前で子ども達に「手話」で「おはようございます」とやってみました。なにやっているのかなと不思議そうにみている子が多い中、手話を学んだ5年生や昨年経験している6年生からは「手話」で「おはようございます」と返してもらいました。学んだことは使うことでさらに深い学びにつながると考えています。

学校訪問 ～先生方も勉強しています～

24日、「学校訪問」がありました。学校訪問とは数年に一度行われるもので、二本松市教育委員会や県北教育事務所の先生方や二本松市内の各教科で「指導員」と呼ばれる先生方をお招きして、授業を見ていただき、指導方法などについて指導を受ける研修の時間です。私たち教員にとっては大変重要な研修の場と考えています。全員の先生方が授業を見ていただきました。また、授業についての研修だけでなく、学校の安全管理の状況や帳簿の整理状況などについても指導をいただきました。

先生方も勉強しています。日々、勉強し、改善を加えていかなければよりよい教育はできないと考えています。学校訪問のため学校は4校時対応となり、ご家庭にはご迷惑をおかけしたところがあったかも知れませんが、趣旨をご理解の上、ご容赦いただければと思います。



※1学期間、多くの保護者が集中する全校一斉の授業参観は行いませんが、授業参観そのものを停止してはではありません。「授業をみたい」「子どもの様子を見たい」という方は、遠慮せずに連絡帳等でご連絡してください。学校は基本、常にオープンです。